



わかりやすく丁寧に語る北澤さん

元サッカー日本代表北澤氏トーク&ブラインドサッカー体験

ブラジルでオリンピックが始まった8月6日（土）、JICA横浜ではJICAオフィシャルサポーターの元サッカー日本代表北澤豪氏をお招きし、夏休み企画を開催しました。

まず北澤さんより、これまでに見てきた開発途上国のスポーツの現場や、厳しい環境の中にもながらも努力し、成長している選手らとの交流についてお話していただきました。

その後、ブラインドサッカー協会のご協力のもと、皆でブラインドサッカーにトライ！アイマスクをしてプレーする競技のため、最初は、参加者の皆さんは準備体操もおぼつかない様子でしたが、徐々に周りの人との信頼関係ができ始めると、耳を澄まして仲間の声を必死に聞きながら、積極的にボールを蹴ろうとしていました。

参加者からは、「ブラインドサッカーへの認識が深まり、楽しかった」などの声が聞かれました。日頃体験できないことに挑戦することで、新たな気づきもあり、充実した時間を過ごせたようです。



ブラインドサッカー体験の様子



イベント終了後、皆で記念撮影

【教師海外研修】

ブラジルでの海外研修を終え、帰国しました



神奈川県と山梨県の先生方10名が夏休み期間中、ブラジル連邦共和国で2週間の海外研修を行いました。

今回の研修では、日系人が多く在住するブラジル最大の都市サンパウロ、日本人移民が最初に到着したサントス、アマゾン地帯に位置する都市マナウス、日本人移住地のあるサンパウロ州ピニャールなどを訪問。ブラジル日系人の皆さんにお話を伺ったり、JICAから派遣中の日系社会ボランティアの活動を見学したり、JICAの交番プロジェクト（地域警察活動普及プロジェクト）を視察するなどたくさんの方と交流しました。

参加された先生方はこれからそれぞれの学校で、ブラジル研修で得た学びを活かし授業を実践していきます。その実践授業レポートは、JICA横浜のHPで公開予定です。

2017年1月9日（月・祝）まで開催
教師海外研修レポート展
-先生たちが見て感じたブラジル2016-
10時00分～18時00分（最終入館17時30分）
会場：JICA横浜 1階 ギャラリー
入館料：無料



【海外移住資料館】

リオ五輪の聖火トーチを公開！



トーチお披露目式では、駐日ブラジル大使館フェルナンド・ベルガジョン経済協力担当部長らをお招きし除幕を行いました



熱戦と感動で幕を閉じたりオ五輪。海外移住資料館では、8月12日からこの聖火リレーで実際に使用された聖火トーチを一般公開しています。

9月25日には聖火トーチを当館に寄贈して下さった小川彰夫氏（サンパウロ市在住・日系二世）の特別講演会を開催しました！

（展示は予告なく終了する場合があります。ご了承ください）

【草の根技術協力事業】

川崎のものづくり職人の皆さんに川崎市長より感謝状が贈呈されました

川崎市はJICA草の根技術協力事業を活用し、（公財）川崎市産業振興財団とともにホーチミン職業訓練短期大学でものづくり技術の指導と、日系企業への就職を促進する活動を実施してきました。

こうした活動に対して、8月8日、川崎市の福田市長から、かわさきマイスターをはじめとする6名の指導員の皆さんに感謝状が贈呈されました。



TICAD VI (第6回アフリカ開発会議) 開催にちなんでアフリカ関連イベントを開催

- 第1弾 学んで、体感！アフリカ紹介セミナー
- 第2弾 海だ！夏だ！のってけ！アフリカンウェーブ

ケニアで開催されたTICAD VIにともない、JICA横浜ではアフリカを知り・体験するイベントを開催しました。

第1弾は、JICA研修員からのお国紹介をはじめ、アフリカの現状とTICADの取組、アフリカにおけるJICAや横浜市の協力事業についての説明などを行いました。



JICA研修員と参加者との活発な意見交換

第2弾は、子どもたちを対象にした「アフリカ屋台」を開催。アフリカの楽器づくりや、衣装試着、絵本のおよみかせ、アフリカ音楽体験や、クイズ大会など盛りだくさんの夏休みイベントとなりました。



アフリカの楽器「マニャンガ」づくり(写真上)やアフリカの布地「カンガ」試着(写真下)も行いました



アフリカ音楽グループ「アハエデ」によるダンスを披露



●アフリカビジネスセミナー

7月28日、横浜市、JETRO横浜、JICA横浜共催によるアフリカビジネスセミナーを開催しました。アフリカビジネスに関心のある神奈川県内の企業のみならず、東京や関西等から、約60名の方々が参加しました。

セミナーでは、在京アフリカ外交団TICAD委員会議長を務めるブルキナファソのウビダ特命全権大使とケニアのマイナ特命全権大使からTICADについてご講演いただきました。JETROからアフリカビジネスに取り組む日本企業について紹介し、JICAからアフリカにおけるビジネス環境、インフラ、人材育成(ABEイニシアティブ)の取組等を紹介。ほか、セネガル共和国から来日中の女性企業家やウガンダ共和国でビジネス展開中の日本企業ご担当者からのお話もありました。

セミナー後の懇親会では、来日中のアフリカ女性企業家と行政官、神奈川県内の大学に留学中のABEイニシアティブ研修員も参加し来場者と名刺を交換するなど、積極的に交流を図りました。



ブルキナファソウビダ大使



ケニアマイナ大使



来日中のアフリカ女性企業家やABEイニシアティブの研修員も参加

【研修員の学校訪問】

アフリカ研修員、横浜市立並木第一小学校を訪問！

7月7日、アフリカからの研修員8名が並木第一小学校を訪問し、4年生と交流しました。今回は、横浜市水道局や横浜ウォーター株式会社と連携し実施している「アフリカ地域 都市上水道技術者養成」コースの一環として実現しました。

児童たちは水道局職員からきれいな水の作り方や水の大切さについて学んだ後、研修員たちからアフリカの水道や学校事情についての話を聞きました。また、アフリカと日本の子どもたちの間で流行している遊びなどについても話し、文化や社会の多様性について理解を深めました。



最後に、児童から歌と折り紙の作品がプレゼントされ、研修員からは「子どもの頃から社会インフラ知識を伝えることは未来に直接つながることで素晴らしい。自国でもこのような取組をしたい」と感想と御礼の言葉がありました

【イベント報告：山梨県】国際フェスタ「オークン・カンボジア！」



7月16日、山梨県国際交流センターにはたくさんの来場者が訪れ、「オークン・カンボジア！」は大変な賑わいをみせました。地雷除去や土地の再生、生活再生に取り組む山梨県内企業株式会社日建の雨宮清会長の特別講演、ポルポト政権下で両親と兄弟を失い過酷な強制労働を強いられた経験をもつ久郷ポンナレットさんの講演のほか、伝統舞踊や音楽の披露、絵・写真展示もありました。

カンボジアの歴史や文化、音楽、アート、料理など、さまざまな角度からカンボジアを満喫する1日となりました。



JICA山梨デスクのブースでは、カンボジアでのJICA事業の紹介や地雷の模型を使用した説明を行いました